

JR東日本グループは、1992年以降、「事業活動と環境保護の両立」という環境に関する基本的な考え方を基本理念として掲げています。また、1996年には行動指針及び数値目標を定め、より具体的な環境保全活動へと結びつけています。

基本理念と基本方針

基本理念(1992年5月制定)

JR東日本グループは一体となって事業活動と環境保護の両立に真摯な姿勢で取り組みます

基本方針(1992年5月制定)

私たちは、快適な環境の提供を通じてお客様や地域社会に貢献します

私たちは、地球環境保護のための技術の開発と提供に努めます

私たちは、常に環境保護に関心をもち一人ひとりの環境保護意識の向上を図ります

エコロジー推進活動の行動指針と目標

行動指針(1996年3月制定)

1. 私たちはエネルギー使用の一層の効率化や、よりクリーンなエネルギーの導入により、貴重な資源の浪費を防止し、地球温暖化の原因となるCO₂の排出量の削減に努めます。
2. 私たちは、環境汚染物質やオゾン層を破壊する物質等を法令等に基づいて適正に管理、処理するとともに、可能な限りその削減や代替物質への転換を進めます。
3. 私たちは、地球の浄化能力の負担を軽くするため、オフィスや事業所、駅、列車等からの様々な廃棄物を適正に処理するとともに、リサイクルとその削減に努め、また再生品、省資源製品の使用拡大に努めます。
4. 私たちは、多様な生命を育む自然環境を大切にするとともに、列車走行による騒音や振動などの低減に努め地域社会との調和を目指します。
5. 私たちは、地球環境にやさしい乗り物としての、鉄道の魅力の向上に努めます。

目標 2005年度達成目標

(1990年度を基準)(1996年3月制定、2000年11月改定、2002年9月一部改定)

CO₂総排出量を20%削減
省エネルギー車両の比率を80%に
自営火力発電所からの単位発電量あたりCO₂排出量を30%削減
単位輸送量あたりの列車運転用エネルギーを15%削減
特定フロン使用大型冷凍機を85%削減
駅や列車で発生する廃棄物のリサイクル率を40%に
車両工場等で発生する廃棄物のリサイクル率を75%に
設備工事等で発生する廃棄物のリサイクル率を85%に
事務用紙の再生紙利用率を100%に
東北・上越新幹線の「住宅立地地域」での75dB対策(達成目標年度は2002年度)
自営火力発電所からのNO_xを60%削減
毎年具体的な環境保護活動